

ウエスタン・グローバル 債券ファンド (SMA専用)

追加型投信/海外/債券

交付運用報告書

第5期(決算日2023年10月10日)

作成対象期間(2022年10月12日~2023年10月10日)

第5期末(2023年10月10日)	
基準価額	12,736円
純資産総額	17百万円
第5期	
騰落率	6.1%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ウエスタン・グローバル債券ファンド(SMA専用)」は、2023年10月10日に第5期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

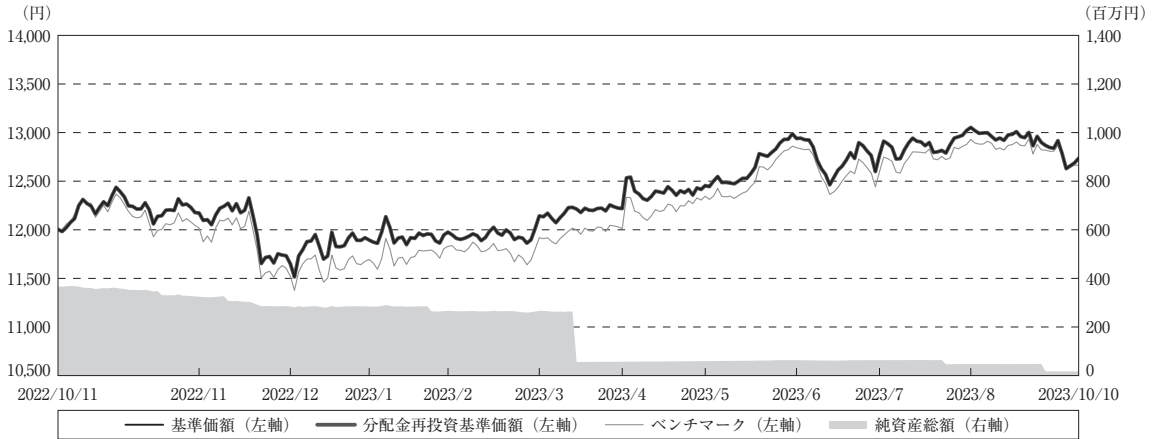
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年10月12日～2023年10月10日)



期 首：12,004円

期 末：12,736円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 6.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2022年10月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合(日本円除く)インデックス(円換算ベース)です。

○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラスとなりました。

公社債利金を手堅く確保したほか、為替損益がプラスとなりました。一方、公社債損益はマイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

（2022年10月12日～2023年10月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	57	0.461	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(37)	(0.296)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.132)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.014	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
（先物・オプション）	(2)	(0.014)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	11	0.092	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.032)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.019)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(4)	(0.035)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	(0)	(0.002)	NDFにかかわる証拠金
（その他2）	(1)	(0.004)	諸税および信託事務等の処理に関する費用
（その他3）	(0)	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合計	70	0.567	
期中の平均基準価額は、12,378円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

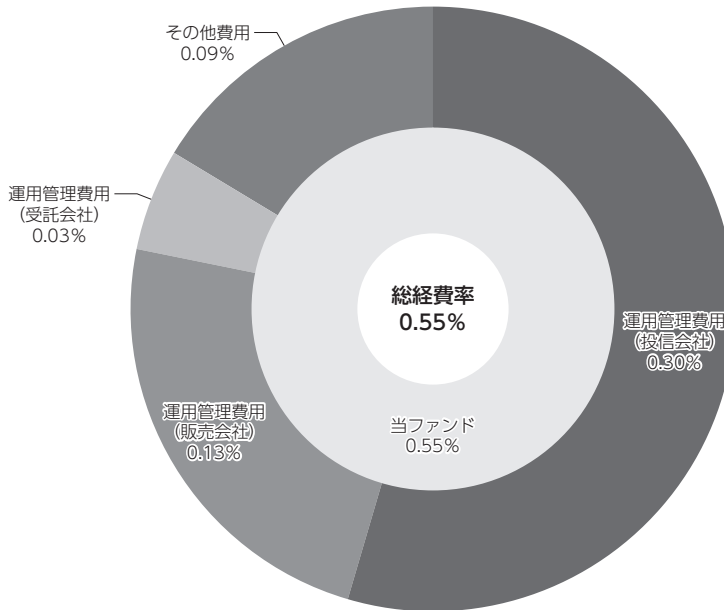
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)**○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.55%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

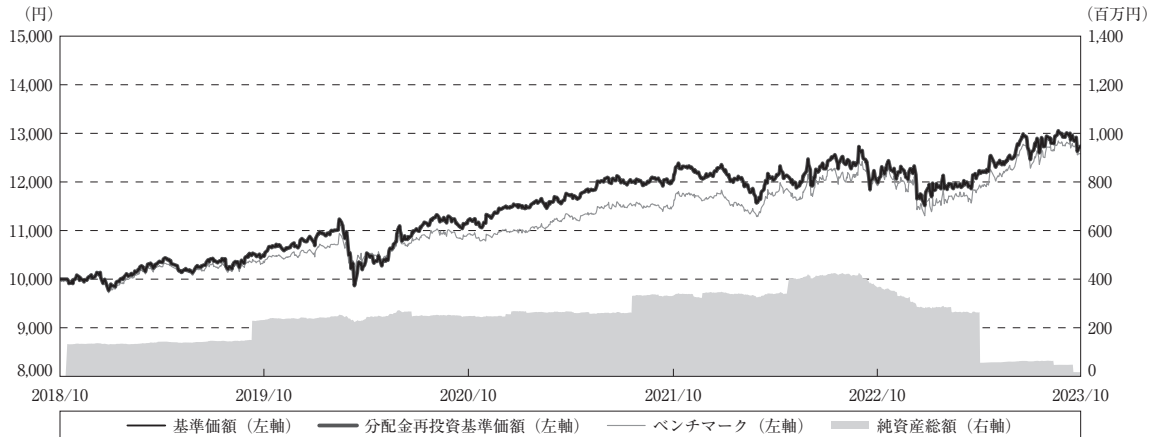
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2018年10月9日～2023年10月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2018年10月10日です。

	2018年10月10日 設定日	2019年10月9日 決算日	2020年10月9日 決算日	2021年10月11日 決算日	2022年10月11日 決算日	2023年10月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,471	11,217	12,048	12,004	12,736
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.7	7.1	7.4	△ 0.4	6.1
ベンチマーク騰落率 (%)	—	3.4	5.7	5.4	3.6	5.5
純資産総額 (百万円)	1	231	248	331	366	17

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年10月9日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）です。

投資環境

(2022年10月12日～2023年10月10日)

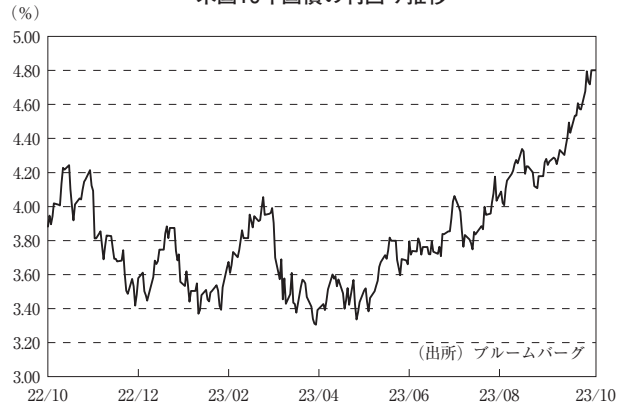
当期の米国債券市場は、利回りが上昇（価格は下落）しました。

期の前半は、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化するなどし、インフレのピークアウトが意識される中、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融引き締めに対する警戒感がやや和らいだことで、利回りは低下（価格は上昇）しました。

期の半ばは、米銀の経営破綻が相次ぎ、金融引き締め不安が強まった局面で、相対的に安全資産とされる米国国債が買われ、利回りは低下しました。ただその後は、米国の債務上限問題を巡って与野党が合意できるとの楽観が広がったことなどから、利回りは上昇しました。

期の後半は、2023年4-6月期の米国内総生産（GDP）の結果が市場予想を上回り、米国景気の堅調さが示されたことが利回りの上昇要因となりました。また、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で政策金利が据え置かれたものの、経済や政策金利の見通しにおいてタカ派的なメッセージが打ち出されたことに加え、原油先物価格が上昇したことなどが利回りの上昇につながりました。

米国10年国債の利回り推移



当期の欧州債券市場は、利回りが上昇しました。

期の前半は、インフレ動向や欧州中央銀行（ECB）の利上げを巡る市場の思惑が揺れ動く中、利回りは一進一退となりました。

期の半ばは、米銀の相次ぐ経営破綻に加え、スイスの大手金融機関の経営不安が浮上し、投資家のリスク回避姿勢が強まったことから、利回りは低下しました。一方、米国の債務上限問題を巡る警戒感の緩和や、インフレの高止まりを背景としたECBの利上げ観測の強まりは、利回りの上昇要因となりました。

期の後半は、利回りが上昇しました。ECBの調査で消費者のインフレ期待が上昇し、ECBによる追加利上げ観測が高まったことや、FRBやイングランド銀行（英中央銀行、BOE）が政策金利を据え置いたものの、さらなる利上げの可能性を示唆し、米国および英国で国債利回りが上昇したことなどから、ドイツの国債利回りも上昇しました。

ドイツ10年国債の利回り推移



当期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、日米の金融政策の方向性の違いが改めて意識される中、米ドル買い・円売りが先行しましたが、日本の政府・日銀が米ドル売り・円買いの為替介入に踏み切り、米ドル安・円高が進みました。さらに、日銀が長短金利操作（イールドカーブ・コントロール=YCC）で長期金利の上限引き上げを決定したことを受けて日銀の大規模な金融緩和策が修正され、日米金利差が縮小するとの思惑が浮上したことなどから、米ドルは対円で一段と下落しました。

期の半ばは、金融システムに対する警戒感から米国国債利回りが低下し、日米金利差の縮小が意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが一時強まりました。ただその後は、日銀の植田新総裁が現行の金融緩和策を当面は継続する方針を示したことや、米国の債務上限問題を巡って与野党が合意できるとの楽観が広がったことなどが、米ドル高・円安の要因となりました。

期の後半は、原油先物価格が上昇し、米国のインフレ圧力が高まるとの見方が広がったことや、FOMCを経てFRBのタカ派姿勢が再確認されたことなどから米国国債利回りが上昇し、日米金利差の拡大が意識されたことで、米ドルは対円で上昇しました。

当期のユーロ・円相場は、ユーロ高・円安となりました。

期の前半は、ユーロ圏と日本との金融政策の方向性の違いが意識される中、ユーロ買い・円売りが先行しましたが、その後ECBの利上げ幅が縮小するとの観測が浮上した一方、日銀の大規模な金融緩和策が修正されるとの思惑が強まったことでユーロ安・円高が進みました。

期の半ばは、金融システム不安からリスク回避姿勢が強まり、ユーロ売り・円買いが一時優勢となりましたが、金融不安への過度な警戒感が後退したことや、ECBによる利上げ長期化が意識されたことなどから、ユーロ買い・円売りが再び強まりました。

期の後半は、ユーロ圏と日本の金融政策の方向性の違いに着目したユーロ買い・円売りが強まりました。ただその後は、ECB理事会を経て利上げサイクルの終了が意識されたことに加え、日本の政府・日銀による為替介入への警戒感が強まったことや、ユーロ圏景気の相対的な弱さが懸念されたことなどから、ユーロは対円で上値の重い動きとなりました。



当ファンドのポートフォリオ

（2022年10月12日～2023年10月10日）

当ファンドは、主に「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除く世界の公社債に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指してまいりました。

当期は、米ドル建て、ユーロ建ての国債、社債等を中心とした組み入れを継続しました。ポートフォリオのデュレーションについては、市場の状況を睨みながら機動的に調整しました。通貨については、景気判断に基づく戦略を立て、機動的なポジション調整を行いました。

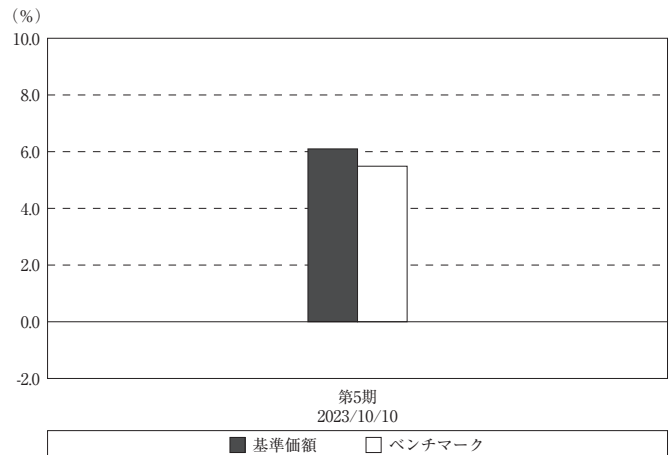
当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年10月12日～2023年10月10日）

当期の当ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを上回りました。

セクター配分戦略において、投資適格社債などをオーバーウェイトとしたことなどがプラスに影響しました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ベンチマークは、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）です。

分配金

（2022年10月12日～2023年10月10日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第5期
	2022年10月12日～ 2023年10月10日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,735

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは日本を除く世界の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを上回る収益を目指して運用を行います。今後も、市場環境を注視しながら、投資魅力度の高い銘柄を厳選し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

お知らせ

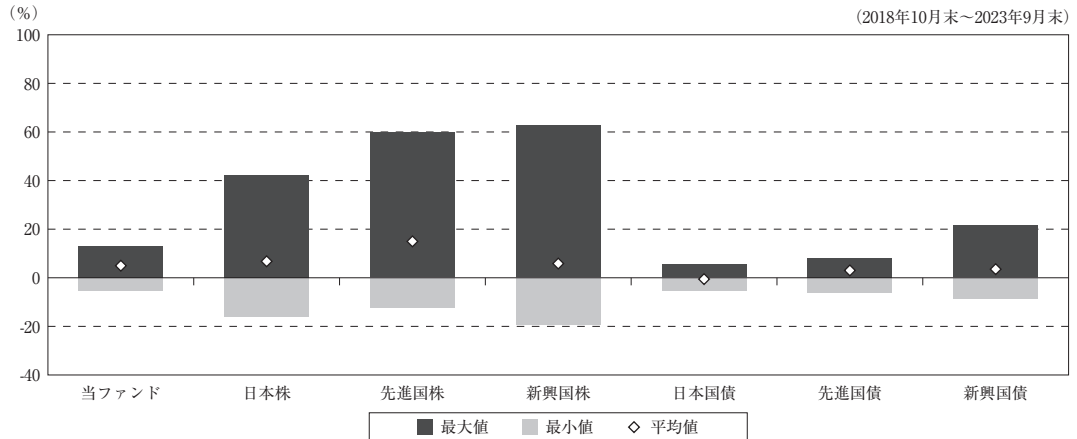
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2018年10月10日～2028年10月10日	
運用方針	主に日本を除く世界の公社債に実質的に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「ウエスタン・グローバル債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	主に日本を除く世界の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算時（毎年10月9日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	13.2	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 5.2	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.0	6.8	15.0	5.9	△ 0.6	3.0	3.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2019年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国債…FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○当ファンドのベンチマークについて

ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックス（円換算ベース）は、ブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックスを委託会社が独自に円換算したものです。「Bloomberg[®]」およびブルームバーグ・グローバル総合（日本円除く）インデックスは、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者である Bloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社とは提携しておらず、また、ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ウエスタン・グローバル債券ファンド（SMA専用）に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年10月10日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第5期末
ウエスタン・グローバル債券マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

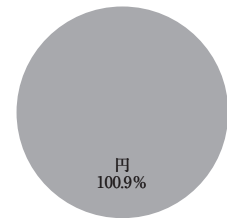
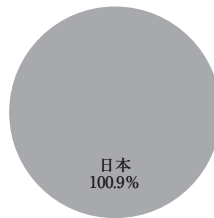
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第5期末
	2023年10月10日
純資産総額	17,142,974円
受益権総口数	13,460,376口
1万口当たり基準価額	12,736円

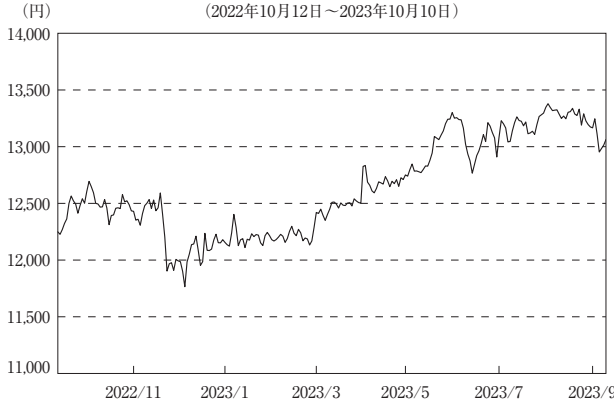
* 期中における追加設定元本額は9,820,155円、同解約元本額は301,825,287円です。

組入上位ファンドの概要

ウエスタン・グローバル債券マザーファンド

【基準価額の推移】

(2022年10月12日～2023年10月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2022年10月12日～2023年10月10日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	2 (2)	0.014 (0.014)
(b) その他費用 (保管費用)	4 (3)	0.031 (0.027)
(監査費用)	(0)	(0.001)
(その他1)	(0)	(0.002)
(その他2)	(0)	(0.002)
(その他3)	(0)	(0.000)
合計	6	0.045

期中の平均基準価額は、12,664円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○現物資産上位10銘柄

(2023年10月10日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	US TREASURY NOTE 0.375% 2026/1/31	国債証券	米ドル	アメリカ	8.9
2	US TREASURY NOTE 2.625% 2027/5/31	国債証券	米ドル	アメリカ	4.0
3	US TREASURY NOTE 0.75% 2026/4/30	国債証券	米ドル	アメリカ	2.8
4	WA CHINA BOND FUND L.L.C.	投資証券	米ドル	アメリカ	2.8
5	TSY INFL IX N/B 1.375% 2033/7/15	国債証券	米ドル	アメリカ	2.2
6	MEXICAN BONOS DESARR FII 7.75% 2042/11/13	国債証券	メキシコペソ	メキシコ	1.9
7	US TREASURY NOTE 1.375% 2050/8/15	国債証券	米ドル	アメリカ	1.9
8	US TREASURY NOTE 1.375% 2028/10/31	国債証券	米ドル	アメリカ	1.9
9	US TREASURY NOTE 0.375% 2025/12/31	国債証券	米ドル	アメリカ	1.9
10	BUNDES REPUBLIC DE 1.7% 2032/8/15	国債証券	ユーロ	ドイツ	1.8
組入銘柄数			451銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

○スワップ及び先渡取引残高

(2023年10月10日現在)

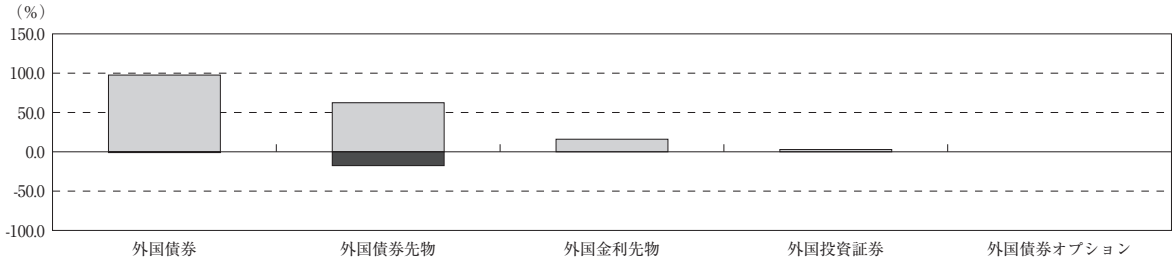
種類	取引契約残高	
	当期末想定元本額	
直物為替先渡取引	百万円 2,184	

○派生商品上位10銘柄

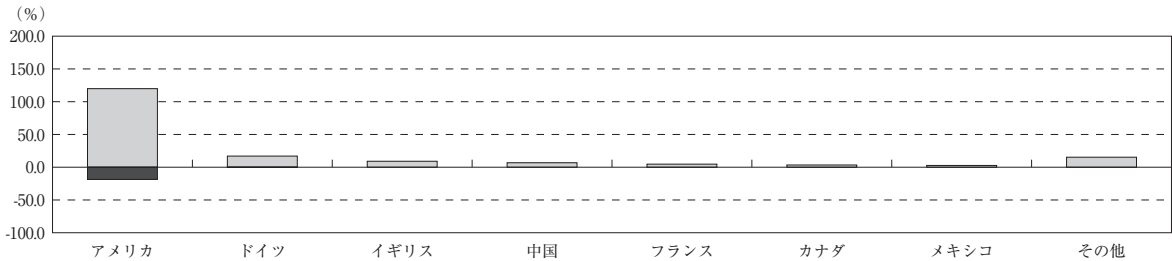
(2023年10月10日現在)

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	米国国債(2年)2023.12限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	20.3
2	米国国債(5年)2023.12限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	18.7
3	SOFR先物3ヶ月	金利先物(買建)	米ドル	アメリカ	16.0
4	米国国債(10年)2023.12限月	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	12.8
5	ドイツ国債(10年)2023.12限月	債券先物(買建)	ユーロ	ドイツ	6.9
6	ドイツ国債(5年)2023.12限月	債券先物(買建)	ユーロ	ドイツ	6.7
7	米国国債(10年)2023.12限月	債券先物(売建)	米ドル	アメリカ	4.7
8	英国国債(10年)2023.12限月	債券先物(買建)	イギリスポンド	イギリス	4.5
9	フランス国債(10年)2023.12限月	債券先物(買建)	ユーロ	フランス	2.0
10	米国国債(20年)2023.12限月	債券先物(買建)	米ドル	アメリカ	1.5
組入銘柄数			16銘柄		

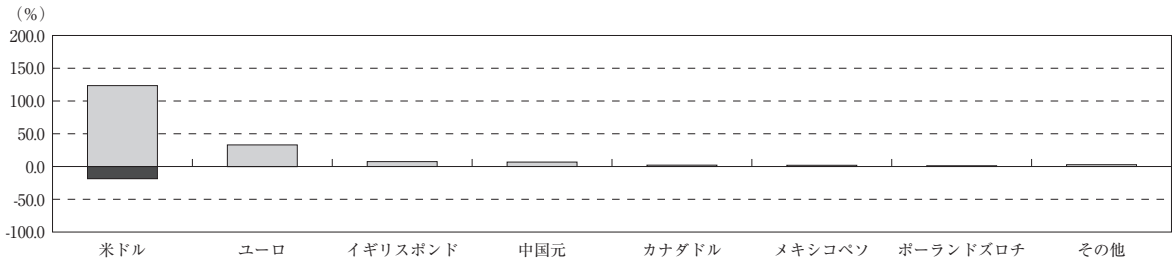
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上記グラフについて、買建はプラス、売建はマイナスで表示しております。

(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。